



生年月日: 1900年1月1日
検査会場: 地域支援仙台センター
検査日: 2021年7月20日
予約コース: 3 : 成人詳細三次調査
予約番号:

東北メディカル・メガバンク機構

生理学的検査 結果報告

* 血液・尿・調査票の結果は別の報告書です





結果概要のお知らせ



* 詳細結果は以降のページにあります

	項目名	単位	基準値	今回 2021年7月20日 3：成人詳細三次調査	前回 2017年7月16日 2：成人詳細二次調査	前々回 2014年7月17日 地域住民(支援センター調査)
身体測定	身長	cm	—	169.6	170.2	170.6
	体重	kg	—	70.0	79.3	80.1
	体脂肪率	%	10.0 ~ 19.9	24.7	29.7	31.4
	BMI	kg/m ²	18.5 ~ 24.9	24.3	27.4	27.5
骨密度	骨年齢	歳代	—	90歳	80歳	80歳
	YAM値	%	80 以上	66.2	60.2	67.7

その他の項目については、お持ち帰り頂く機器のデータ抽出を含めた分析の後、結果をお返しさせていただきます。検査結果のお返しには2～3ヶ月程度を見込んでいます。



項目	今回 前回 前々回	判定コメント
	2021年7月20日	
BMI	2017年7月16日	太り気味です。ふくよかです。
	2014年7月17日	太り気味です。ふくよかです。
	2021年7月20日	骨粗鬆症の疑いがありますので、医療機関への受診をお勧めします。
骨密度	2017年7月16日	骨粗鬆症の疑いがありますので、医療機関への受診をお勧めします。
	2014年7月17日	骨粗鬆症の疑い。

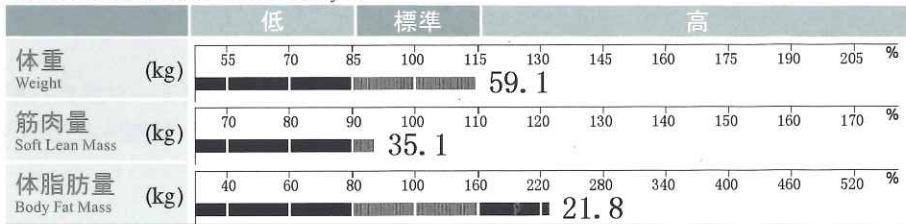
ID	身長	年齢	性別	測定日時
770 TEST PRINT	156.9cm	51	女性	2023.09.22. 18:17

体成分分析 Body Composition Analysis

	測定値	体水分量	筋肉量	除脂肪量	体重
体水分量 (L) Total Body Water	27.5 (26.4~32.2)	27.5	35.1 (33.8~41.4)	37.3 (35.8~43.8)	59.1 (43.9~59.5)
タンパク質量 (kg) Protein	7.2 (7.0~8.6)				
ミネラル量 (kg) Minerals	2.64 (2.44~2.98)	骨ミネラル量			
体脂肪量 (kg) Body Fat Mass	21.8 (10.3~16.5)				

増減量: -0.5kg

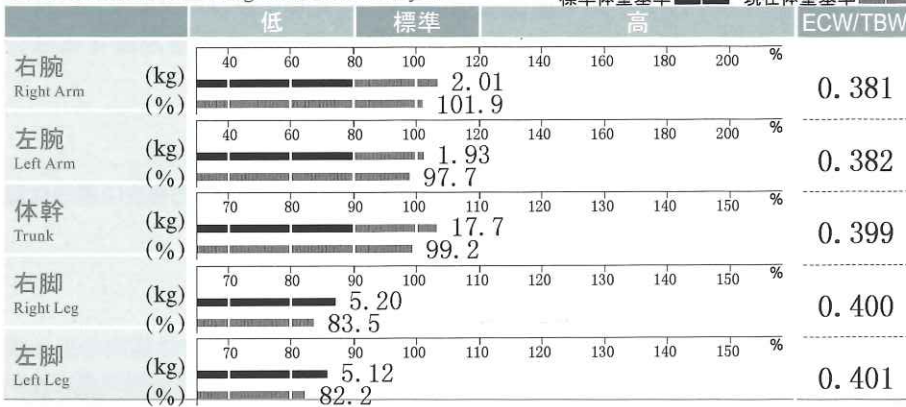
筋肉-脂肪 Soft Lean-Fat Analysis



肥満指標 Obesity Index Analysis



部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis



体水分均衡 ECW/TBW Analysis



体成分履歴 Body Composition History

	23.09.22 18:17				
体重 (kg)	59.1				
筋肉量 (kg)	35.1				
体脂肪率 (%)	36.9				
細胞外水分比 (ECW/TBW)	0.397				
最近	<input checked="" type="checkbox"/>	全体	<input type="checkbox"/>		

体重調節 Weight Control

適正体重	51.7 kg
体重調節	-7.4 kg
脂肪調節	-9.9 kg
筋肉調節	+2.5 kg

栄養評価 Nutrition Evaluation

タンパク質量	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 不足
ミネラル量	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 不足
体脂肪量	<input type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 不足 <input checked="" type="checkbox"/> 過多

肥満評価 Obesity Evaluation

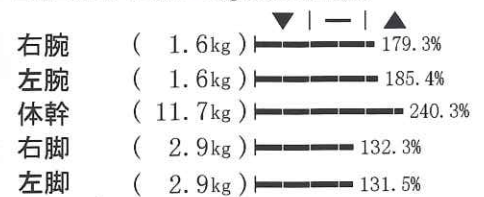
BMI	<input checked="" type="checkbox"/> 標準	<input type="checkbox"/> 低体重	<input type="checkbox"/> 過体重
			<input type="checkbox"/> ひどい過体重

体脂肪率	<input type="checkbox"/> 標準	<input type="checkbox"/> 軽度肥満	<input checked="" type="checkbox"/> 肥満
------	-----------------------------	-------------------------------	--

筋肉均衡 Lean Balance

上半身均衡	<input checked="" type="checkbox"/> 均衡	<input type="checkbox"/> やや不均衡	<input type="checkbox"/> 不均衡
下半身均衡	<input checked="" type="checkbox"/> 均衡	<input type="checkbox"/> やや不均衡	<input type="checkbox"/> 不均衡
上下均衡	<input type="checkbox"/> 均衡	<input checked="" type="checkbox"/> やや不均衡	<input type="checkbox"/> 不均衡

部位別体脂肪量 Segmental Fat Analysis



部位別水分量 Segmental Body Water Analysis

右腕	1.57 L	(1.18~1.78)
左腕	1.50 L	(1.18~1.78)
体幹	13.9 L	(12.1~14.8)
右脚	4.08 L	(4.21~5.15)
左脚	4.02 L	(4.21~5.15)

研究項目 Research Parameters

細胞内水分量	16.6 L	(16.3~19.9)
細胞外水分量	10.9 L	(10.0~12.2)
骨格筋量	19.6 kg	(19.5~23.9)
基礎代謝量	1176 kcal	
骨ミネラル量	2.21 kg	(2.01~2.45)
体細胞量	23.8 kg	(23.4~28.6)
骨格筋指数(SMI)	5.8 kg/m ²	

インピーダンス Impedance

	右腕	左腕	体幹	右脚	左脚
Z(Ω) 1 kHz	379.6	392.7	26.8	306.8	316.1
5 kHz	373.1	385.4	25.7	303.0	314.1
50 kHz	337.2	352.5	23.0	282.3	289.8
250 kHz	307.9	322.9	20.4	263.3	272.7
500 kHz	297.4	311.5	19.1	258.1	267.8
1000 kHz	286.4	297.4	17.0	254.5	264.0

体成分分析 Body Composition Analysis

人の体は大きく分けて体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪で構成されています。これらの成分の均衡がとれている時に、我々の体は健康な状態と言えます。

体水分量 Total Body Water

健康者の体重の約50～70%が水分であり、体水分は摂取した栄養素を体の細胞に届け、老廃物を外に排出できるよう運搬の役割をしています。

体水分は更に細胞を構成する細胞内水分と血液や間質に存在する細胞外水分に分かれ、その均衡が悪くなるとむくみが現れやすくなります。

タンパク質量 Protein

タンパク質は体水分と共に筋肉を構成する主な成分です。タンパク質が足りないことは細胞の栄養状態がよくないことを意味します。

ミネラル量 Minerals

ミネラルの約80%は骨にあり、人体を支持する役目をします。足りないとは骨粗鬆症や骨折の危険性が高まります。

体脂肪量 Body Fat Mass

食事で摂取した栄養素は消化吸収の後、活動に必要なエネルギーとして使われますが、余分なエネルギーは脂肪細胞に蓄積され、肥満の原因になります。

筋肉・脂肪 Soft Lean-Fat Analysis

単に体重が多いことで肥満等を心配する必要はありません。それより大切な事は、体を構成している筋肉と体脂肪の均衡です。体重・筋肉量・体脂肪量の各棒グラフの先端を結んだ形によって、普通型・強靱型・肥満型等に分かれます。



筋肉量は主に体水分とタンパク質で構成されている除脂肪軟組織を意味し、骨格筋・内臓筋・心臓筋などを含む筋肉成分の総量です。骨格筋量は自分の意志で動かせる随意筋のみを示しており、研究項目から確認できます。

肥満指標 Obesity Index Analysis

BMI(kg/m²)

体格指数(Body Mass Index)といって、身長と体重のみで肥満可否を判定するため、見かけの肥満度を意味します。

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)}^2$$

体脂肪率(%)

体脂肪率は体重に対する体脂肪の割合を意味します。

$$\text{体脂肪率} = \text{体脂肪量(kg)} \div \text{体重(kg)} \times 100$$

部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis

腕・体幹・脚の筋肉量を分析します。筋肉量は普段の運動量や活動量によって変動するため、運動効果をそのまま表す項目です。上の棒グラフは各部位の筋肉量の実測値で、身長から求めた標準体重に対する筋肉量の比較を表し、下の棒グラフは現在体重に対する筋肉量の比較を表します。

体水分均衡 ECW/TBW Analysis

体水分量に対する細胞外水分量の割合であり、体の水分均衡を意味します。健康な体は一定の水分均衡を維持しますが、疾患や栄養不良等で均衡が崩れると数値が高くなります。



体成分履歴 Body Composition History

測定時に同じIDで測定すると、そのIDの履歴データが折れ線グラフで表示されます。体重・筋肉量・体脂肪率・細胞外水分比が確認できます。

体重調節 Weight Control^{*1}

理想的な体成分均衡になるための筋肉調節量と脂肪調節量を意味します。適正体重は体成分状態を考慮するため、筋肉量が標準より多い人の場合、適正体重が標準を上回ることがあります。

部位別体脂肪量 Segmental Fat Analysis^{*1}

腕・体幹・脚の体脂肪量を分析します。棒グラフの長さは標準体重に対する体脂肪量の比較を意味します。

部位別水分量 Segmental Body Water Analysis^{*1}

腕・体幹・脚の体水分量を分析します。体水分は筋肉の主な構成成分であり、部位別水分量の評価は必ず部位別筋肉量に比例します。

位相角 Whole Body Phase Angle^{*1}

50kHzの交流電流が右半身の細胞膜を通過する際に計測される抵抗を角度で表しています。体細胞量や細胞の構造的完成度に比例します。

インピーダンス Impedance

部位別・周波数別にインピーダンス情報を表示します。インピーダンスは周波数を持つ交流電流が体水分に沿って流れる際に発生する抵抗であり、体成分を算出するための基データです。また、InBody測定が最後まで正常に行われた場合、インピーダンスは各部位と周波数に相応するパターンが計測されるので、測定エラーを判定できる指標になります。

*1 結果用紙の右側に表示される情報は、管理者による機器の設定に応じて説明と異なる場合があります。



骨の検査結果のお知らせ

● 骨密度測定装置 [踵骨骨密度]

本調査では超音波を用いて簡便に骨密度を測定しました。今回評価に使用したのは骨梁面積率という指標で、放射線で正確に測定される骨密度と高い相関を持つことが知られています。

骨年齢 (90歳以上)

今回のあなたの骨梁面積率が、同性・同年齢層の方の骨梁面積率の平均値と比べて高いか低いかで評価しています。

YAM値 (66.2) % (基準値80%以上)

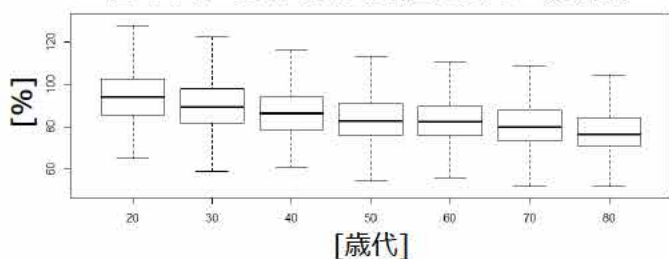
骨量は年齢とともに減少します。あなたの骨梁面積率が同性の若年成人平均値と比較すると何%になるかを示しています。

コメント：

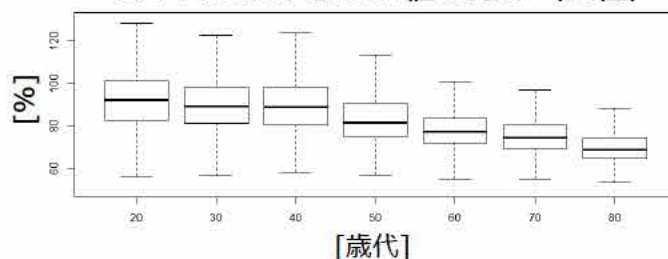


あなたの骨密度は同性の若年成人平均値（20～40歳の骨量の平均値）と比較するとかなり低下しています。骨粗鬆症の疑いがありますので、医療機関を受診し再検査を受けることをお勧めします。

各年代におけるYAM値の分布 (男性)

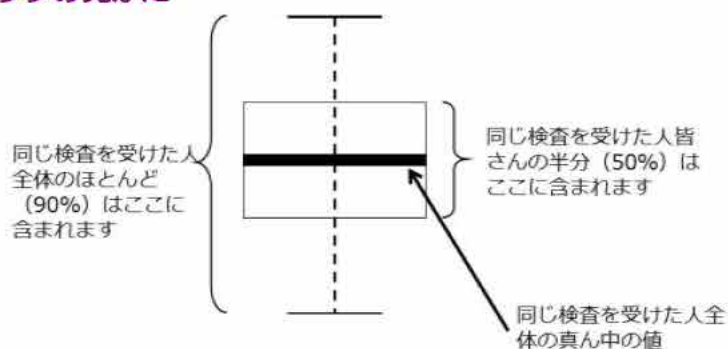


各年代におけるYAM値の分布 (女性)



※東北大学東北メディカル・メガバンク機構調べ（2017年4月末までの参加者34,191人の計測データから作成しています）

グラフの見かた



今回の健康調査は、皆さまの健康状態を総合的に診断するものではありません。

健康管理のため、健康診断は必ず定期的にお受け下さい。



検査で異常があった方、お身体に不調を感じた方は、かかりつけの医療機関にご相談ください。

検査の内容に関するお問い合わせは、下記にてお受けいたします。



検査内容に関するお問い合わせ



地域住民コホート担当（三世代コホート調査ご参加の20歳以上の方からのお問い合わせもお受けいたします）

022-718-5161

受付時間：平日 9:00～16:30

東北大学東北メディカル・メガバンク機構（〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1）

*今回の検査費用は無料です。**振り込め詐欺にご注意ください。**